

令和元年度(2019年度)

管理事業名	休日急病診療所事業				総合計画の体系	大綱 3 政策 4 施策 3	福祉・健康 健康・医療のまちづくり 地域医療体制の充実
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 1	保健衛生費	(目) 12	休日急病診療所費
部局名	健康医療部	予算執行所属	地域医療推進室休日急病診療所 (健康まちづくり室休日急病診療所)				
予算大事業名 休日急病診療所事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名						
事業の目的と概要 【休日急病診療所事務事業】 吹田市立休日急病診療所は、日曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日・年末年始において、吹田市医師会、吹田市歯科医師会及び吹田市薬剤師会の協力を得て、昼間の急病患者に対して、応急的な医療を市民の皆様へ提供しています。 診療科目は内科、小児科、外科、歯科の4診療科です。 【休日急病診療所移転整備事業】 吹田市立休日急病診療所は、感染症対策等の観点から、「(旧)ドナルド・マクドナルド・ハウス おおさか・すいた」(青山台4丁目)の建物を改修し、恒久的な移転先として活用するものです。							

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	成果指標の定義
受診者数	人	5,345	6,229	7,009	休日急病診療所を利用された患者数
成果の説明	吹田市立休日急病診療所は、開業医が休診の日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、年末年始の昼間における応急的な医療を市民に提供することで、令和元年度は年間延べ7,009人の救急患者に対する診療業務を行い、休日等の初期救急医療の確保に努めました。 患者数につきましては、平成27年2月22日に休日急病診療所が千里保健医療会館から総合福祉会館4階へ移転したことにより、患者数は一時減少しましたが、平成28年度以降は現在の診療場所が周知されてきたことやインフルエンザの流行による患者数の増加もあり、毎年患者数が増加しています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

勘定科目	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	48,392	55,547	60,934	5,387
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	67,000	67,000
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	66	110	74	△36
経常収入 小計(a)	48,458	55,656	128,007	72,351
給与関係費	75,993	77,337	86,035	8,698
物件費	11,093	18,721	16,808	△1,913
維持補修費	70	169	31,547	31,378
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	122	121	124	4
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	3,647	6,122	6,122	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	1,880	1,959	1,976	17
退職手当引当金繰入額	8,388	1,688	479	△1,209
支払利息	-	-	-	-
その他	0	-	-	-
経常費用 小計(b)	101,194	106,118	143,092	36,974
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△52,736	△50,461	△15,085	35,376
特別収入	-	-	294,425	294,425
特別収入 小計(d)	-	-	294,425	294,425
特別支出	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	294,425	294,425
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△52,736	△50,461	279,340	329,801
一般財源充当額	199,066	44,663	66,039	21,376
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	146,330	△5,798	345,379	351,177

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
使用料及び手数料	令和元年度は平成30年度と比べ、患者数が780人増加したことにより診療収入が5,387千円増加
府支出金	「(旧)ドナルド・マクドナルド・ハウス おおさか・すいた」建物の改修工事実施にあたり、大阪府宝くじ社会貢献広報市町村補助金収入が67,000千円増加
維持補修費	「(旧)ドナルド・マクドナルド・ハウス おおさか・すいた」建物改修工事等に係る維持補修費が31,378千円増加

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	48,458	55,656	128,007	72,351
行政サービス活動支出	90,535	100,320	138,213	37,893
行政サービス活動収支差額	△42,077	△44,663	△10,206	34,457
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	156,989	-	164,133	164,133
投資活動収支差額	△156,989	-	△164,133	△164,133
財務活動収入	-	-	108,300	108,300
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	108,300	108,300
収支差額 合計	△199,066	△44,663	△66,039	△21,376
一般財源充当額	199,066	44,663	66,039	21,376
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(投資活動支出)「(旧)ドナルド・マクドナルド・ハウス おおさか・すいた」の建物改修工事等の実施により164,133千円の増加
----------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
受診者1人あたりのコスト	平成29年度	5,345 人	18,932 円	各年度の受診者数で算出し、令和元年度は受診者1人あたり20,415円のコストがかかっています。建物改修工事等に係る経費の増加により、前年度と比較して1人あたりのコストが増加しています。
	平成30年度	6,229 人	17,036 円	
	令和元年度	7,009 人	20,415 円	
	平成29年度		円	
	平成30年度		円	
	令和元年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	1,959	1,976	17
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	1,959	1,976	17
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	153,742	702,680	548,938	固定負債	19,942	126,981	107,040
土地	-	411,876	411,876	地方債	-	108,300	108,300
建物・工作物	153,742	290,804	137,062	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	19,942	18,681	△1,260
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	240	240	-	その他固定負債	-	-	-
インフラ資産	-	-	-	負債の部合計	21,901	128,958	107,057
有形固定資産	-	-	-	純資産	141,492	586,822	445,330
土地	-	-	-	重要物品	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	図書館資料	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
重要物品	9,411	12,860	3,449	出資金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	基金	-	-	-
出資金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	その他債権	-	-	-
基金	-	-	-	資産の部合計	163,393	715,780	552,387
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
負債及び純資産の部合計	163,393	715,780	552,387				

Ⅲ 財務構造分析

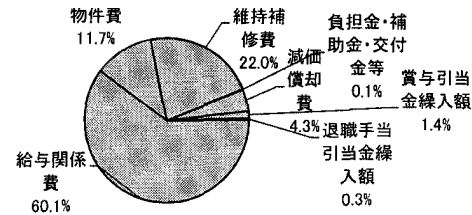
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用		非常勤 月平均	臨時雇員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数
	月平均	3人			
給与関係費等	25,249千円	63,241千円			
内、時間外勤務手当	1,259千円				
合計(千円)	88,490				

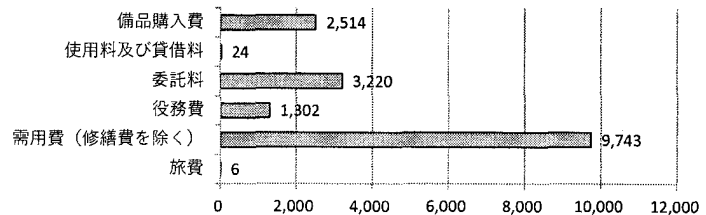
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
土地	「(旧)ドナルド・マクドナルド・ハウス おおさか・すいた」の土地について、土地取得により411,876千円の増
建物・工作物	「(旧)ドナルド・マクドナルド・ハウス おおさか・すいた」の建物について、改修工事の実施により137,062千円の増
重要物品	診療所のレントゲン撮影装置等の大型備品の購入により3,449千円の増

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市立休日急病診療所ほか
取得年月日	平成27年(2015年)2月4日
建物・工作物の取得価額	302,431千円
建物・工作物の減価償却累計額	11,627千円
利用料金収入	60,934千円

▽分析指標

分析指標	(単位:%)			差 B-A
	年度	平成29年度	平成30年度 A	
施設維持補修費比率		0.0	0.1	10.4
施設老朽化比率		1.6	4.4	3.8
受益者負担比率		47.8	52.3	△ 9.7
徴収不能引当率		-	-	-
一般財源充当比率		80.4	44.5	△ 22.7
経常費用対公共資産比率		62.9	66.0	△ 18.7

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常収入128,007千円のうち、60,934千円は、受診者からの診療収入によるもので、府支出金を除くと経常収入の99.9%を占めています。受益者負担比率は本年度は移転のための建物の改修工事費等の支出がありました。42.6%と高く、受診者の負担が収入の大きなウエイトを占める事業です。経常費用143,092千円のうち、86,035千円は、主に医師、薬剤師、看護師などの出務報酬等を含む給与関係費にかかるもので、経常費用全体の60.1%を給与関係費が占めています。経常収支の差額は一般財源を充当しており、一般財源充当比率は21.8%となっています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

本事業は、毎年、経常収支差額が発生し、差額は一般財源から充当していますが、診療収入は、インフルエンザの流行等の季節的要因に左右されるなど、大幅な収入増が見込めないことから、今後も収支の改善は困難であると考えます。しかしながら、当診療所では、休日等の昼間における応急的な医療を提供する初期救急医療機関としての役割を担っており、市民の安心と健康を確保する上での重要な事業であるため、今後も継続して運営する必要があります。また、事業のより効率的な運営を目指して、事務の委託や改善にも積極的に取り組むことが必要と考えています。休日急病診療所移転整備事業につきましては、平成29年度に、恒久的な移転先として活用するため、「(旧)ドナルド・マクドナルド・ハウス おおさか・すいた」の建物を購入し、令和元年度は土地の交換取得や必要な改修工事等を行い、令和2年の移転開設に向けて準備を進めました。